

# 2024年3月期 通期 決算ハイライト

ティアック株式会社  
<https://www.teac.co.jp/jp/>  
証券コード：6803

2024年5月10日

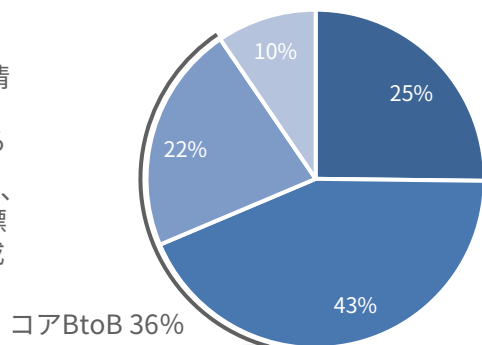
## 2024/03期 通期 業績概要

■ 2024/03期 通期は前期比減収減益。自己資本比率は中期計画目標とした30%を前倒し達成

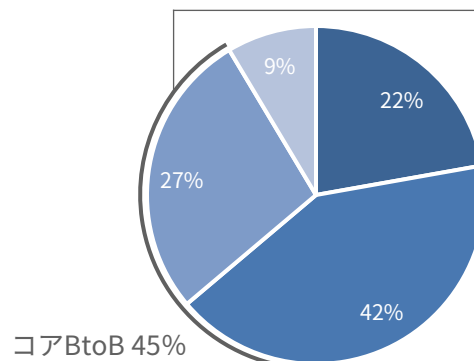
	2023/03期 通期	Q1	Q2	Q3	Q4	2024/03期 通期	前期比	(百万円)
売上収益	15,699	3,349	3,977	3,890	4,457	15,672	△ 27 (△ 0.2%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>音響機器事業は前期比+9%増収ながら、その他事業の縮小と情報機器の不振により全社売上収益は横ばい</li> </ul>
営業利益 (△損失)	563	△ 194	148	148	344	445	△ 119 (△ 21.0%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上総利益は増益も、販売促進活動の推進と円安進行により支出増となり前期比減益</li> </ul>
税引前利益 (△損失)	341	△ 389	32	179	183	5	△ 336 (△ 98.5%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>222百万円の為替差損が発生し前期比減益                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 詳細は「<a href="#">金融費用 (為替差損) の計上に関するお知らせ</a>」(2024年5月10日発表) をご参照ください</li> </ul> </li> </ul>
当期利益 (△損失)	305	△ 400	32	181	134	△ 53	△ 359 (-)	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤字転落</li> </ul>
資本合計	3,112					3,574	+ 462 (+ 14.9%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>為替換算調整勘定が475百万円増</li> </ul>
1株当たり親会社 所有者帰属持分	108.02円					124.08円	+ 16.06円 (+ 14.9%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>前期比増</li> </ul>
自己資本比率	28.4%					30.0%	+ 1.6ppt	<ul style="list-style-type: none"> <li>中期計画にて次期目標とした30%を前倒し達成</li> </ul>
フリー キャッシュフロー	192					△ 37	△ 229	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤字転落。営業キャッシュフローは69百万円</li> </ul>

# 2024/03期 通期 セグメント別・地域別構成比

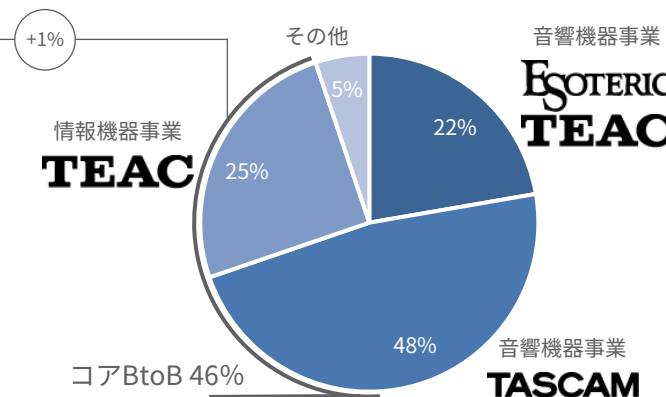
2022/03期 売上収益  
16,004百万円



2023/03期 売上収益  
15,699百万円



2024/03期 売上収益  
15,672百万円

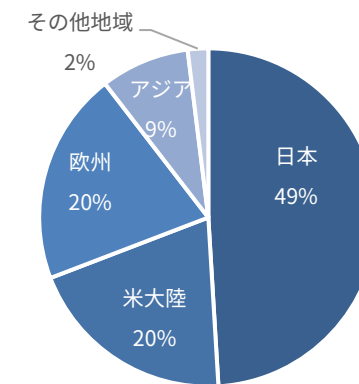
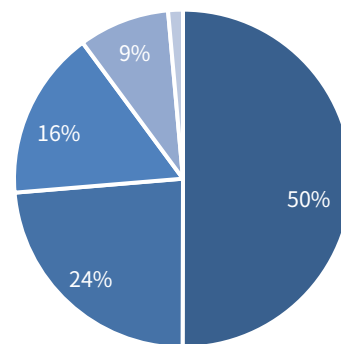
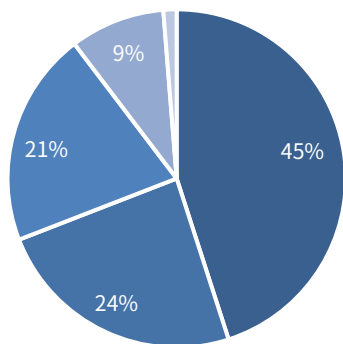


## ■ セグメント別

- TASCAM BtoBは好調も情報機器の不振により全社BtoB事業は微増に留まる
- その他事業の縮小に伴い、BtoB比率は中期計画目標の42%を超え46%を達成

## ■ 地域別

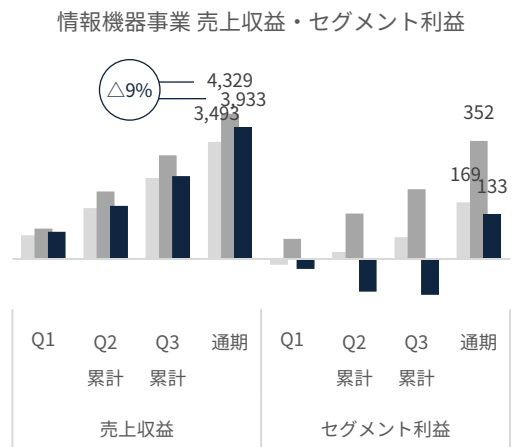
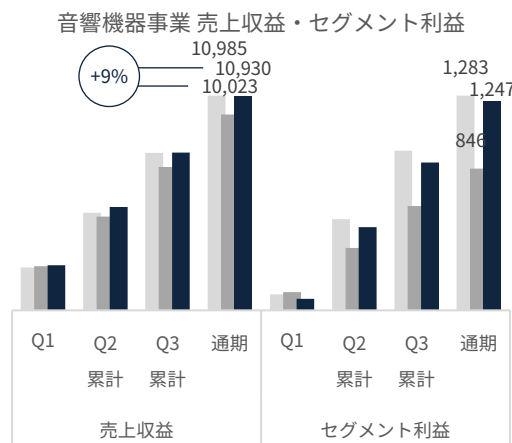
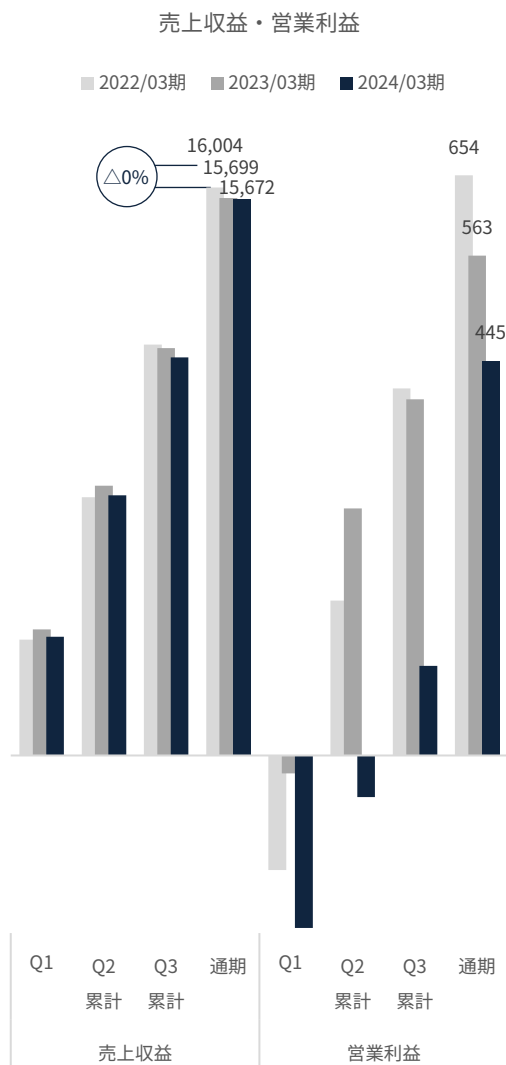
- 欧州は前期比+26%増収、構成比も+4ppt増、ともに2022/03期水準に回復
- 米大陸は、機内エンターテインメント機器用保守部品の販売終了とその他事業の縮小影響により減収、構成比は△4ppt減



註： 2023/03期より産業用光ドライブ事業の報告セグメントを「情報機器事業」から「その他」へ変更。上記では、過年度実績対比を目的とし2022/03期についても産業用光ドライブ事業は「その他」を含む

# 2024/03期 通期 セグメント別業績

(百万円)



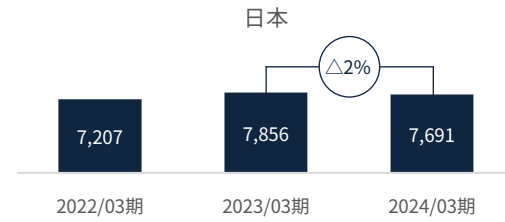
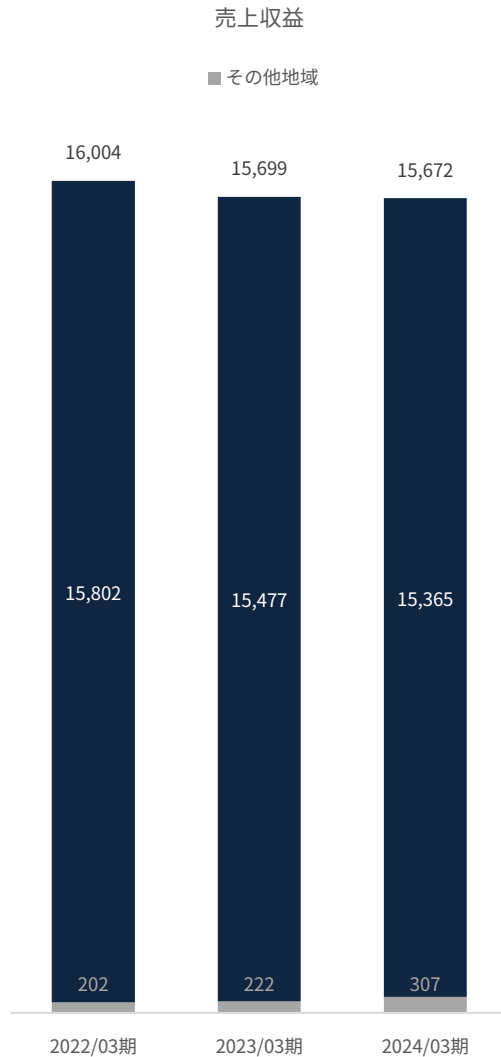
その他

- ハイエンドオーディオ機器 (ESOTERICブランド)**
  - クロックジェネレーター、デジタルプレーヤー、プリメインアンプの新製品の上市と社内マスタリングのLPレコードを4タイトルリリースし堅調に推移。インドア消費の落ち込みにより国内市場が低調に推移したが、欧米での販売は好調に推移した事から前期比増収
- プレミアムオーディオ機器 (TEACブランド)**
  - オリジナル技術であるVRDSメカニズム搭載のCDプレーヤーなどを上市し堅調に推移。中国の景気後退などを要因としたアジア地域での減収を国内市場の増収でカバーし前期比増収
- 音楽制作・業務用オーディオ機器 (TASCAMブランド)**
  - BtoB事業において、音響設備工事業件の需要増により主力録音再生機の販売が堅調に推移したことに加え、当期より海外展開した業務用ミキサーおよび近年需要が高まっているネットワーク関連機器などの販売が好調。BtoC事業においては、巣ごもり需要収束後も付加価値の高いクリエイター向け主力商品が市場から高く評価され続けており、上市した新製品効果も加わって好調。その結果、音楽制作・業務用オーディオ機器全体では前期比増収
- 計測機器**
  - データレコーダーにおいては、国内の各計測分野の需要回復による受注増や、警察庁向け生体測定装置の大型案件もあり好調に推移。センサーおよびデジタル指示計においては、新たに開拓したリチウムイオン電池製造装置向けの出荷が好調に推移したものの、コアとなる半導体市場向けは需要回復の遅れにより低調だったことから、計測機器全体では前期比減収
- 医用画像記録再生機器**
  - 4K手術画像記録用レコーダーが国内・海外ともに好調に推移し、大手検査装置メーカーのオプション採用やその他OEM販売も始まったが、国内の消化器内視鏡向けレコーダーと欧州のFull HD手術画像記録用レコーダーの販売が減少し前期比減収
- 機内エンターテインメント機器**
  - 新たな国内顧客を獲得し、コンテンツ販売の本格化も進んだが、海外顧客向けの保守部品販売が前期で終了したことから前期比減収
- ソリューションビジネス**
  - ネットワーク・インフラの保守や受託開発案件の積上げに加え、大規模PC案件も獲得し前期比増収
- 前期比減収減益

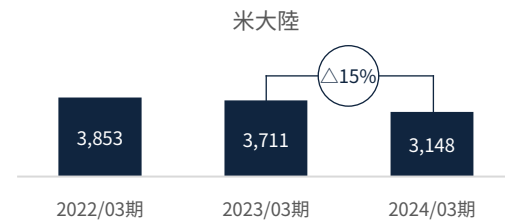
注： 2023/03期より産業用光ドライブ事業の報告セグメントを「情報機器事業」から「その他」へ変更。上記では、過年度実績対比を目的とし2022/03期についても産業用光ドライブ事業は「その他」を含む

# 2024/03期 通期 地域別業績

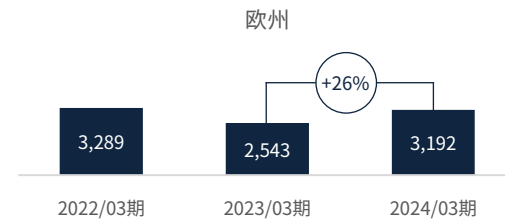
(百万円、+は前期比増収、-は同減収)



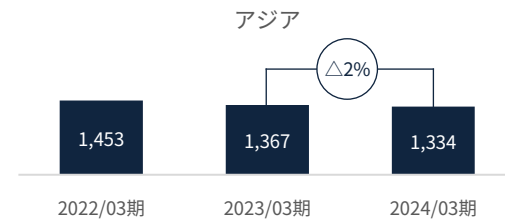
- 音響機器事業
  - + プレミアムオーディオ機器、業務用オーディオ機器 (BtoB)
  - ハイエンドオーディオ機器、音楽制作用オーディオ機器 (BtoC)
- 情報機器事業
  - + ソリューションビジネス
  - 計測機器、医用画像記録再生機器、機内エンターテインメント機器



- 音響機器事業
  - + 音楽制作用オーディオ機器 (BtoC)
  - ハイエンドオーディオ機器、プレミアムオーディオ機器、業務用オーディオ機器 (BtoB)
- 情報機器事業
  - + 医用画像記録再生機器
  - 計測機器、機内エンターテインメント機器 (保守用部品)



- 音響機器事業
  - + ハイエンドオーディオ機器、プレミアムオーディオ機器、音楽制作用オーディオ機器 (BtoC)、業務用オーディオ機器 (BtoB)
  -
- 情報機器事業
  - + 計測機器
  - 医用画像記録再生機器



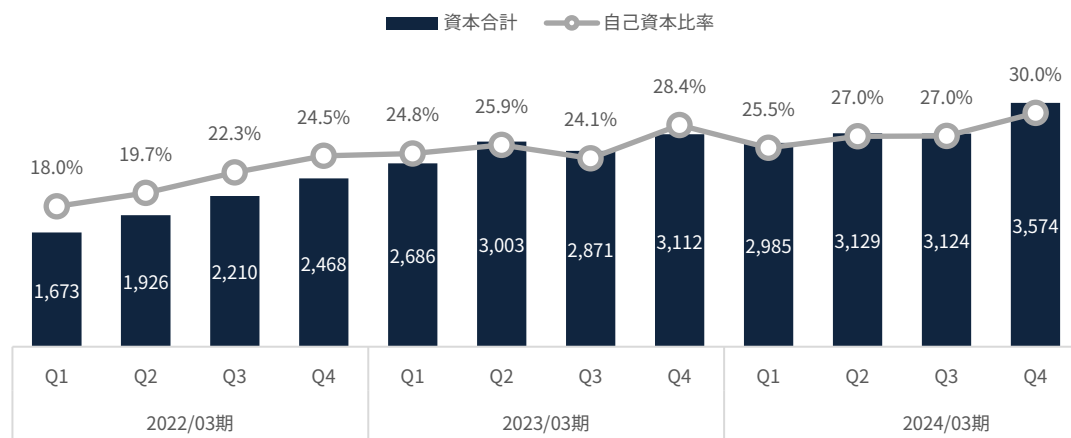
- 音響機器事業
  - + ハイエンドオーディオ機器、音楽制作用オーディオ機器 (BtoC)、業務用オーディオ機器 (BtoB)
  - プレミアムオーディオ機器
- 情報機器事業
  - + 計測機器、医用画像記録再生機器
  -

註： 2023/03期より産業用光ドライブ事業の報告セグメントを「情報機器事業」から「その他」へ変更。上記では、過年度実績対比を目的とし2022/03期についても産業用光ドライブ事業は「その他」を含む

# 2024/03期 通期 自己資本比率・フリーキャッシュフロー

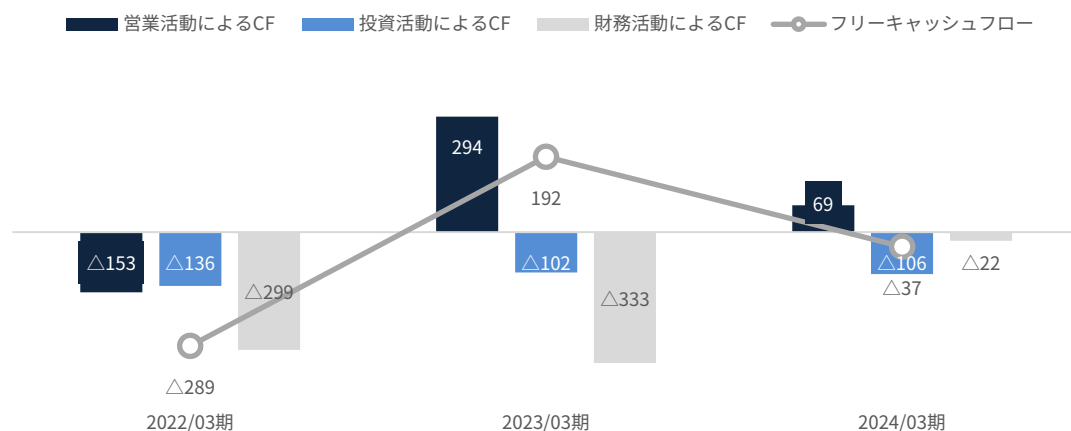
(百万円)

## 自己資本比率



- 資本合計：前期比+ 462百万円 (+ 14.9%) 増
- 自己資本比率：前期比+ 1.6ppt増

## フリーキャッシュフロー



- フリーキャッシュフロー：営業キャッシュフローは前期比△ 225百万円減の69百万円。フリーキャッシュフローは前期比△ 229百万円減の△ 37百万円へ赤字転落

## ■ 2025/03期は、前期比増収増益を見込む

- 当初中期経営計画を修正。詳細は「[中期経営計画の修正に関するお知らせ](#)」（2024年5月10日発表）をご参照ください

	2024/03期	2025/03期 予想	前期比		(百万円)
売上収益	15,672	16,000	+ 328 (+ 2.1%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>当社が比較優位性を持つ製品の適宜価格改定と併せ、期初発足の新事業体制の下、更なる戦略製品の導入と事業領域の拡大により増収を計画</li> </ul>	
営業利益	445	500	+ 55 (+ 12.4%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>インフレや投資停滞などのリスクに対応すべく、デジタルとリアル両面でマーケティング投資増を計画</li> </ul>	
税引前利益	5	250	+ 245 (-)	<ul style="list-style-type: none"> <li>増益計画</li> </ul>	
当期利益（損失）	△ 53	200	+ 253 (-)	<ul style="list-style-type: none"> <li>黒字転換計画</li> </ul>	
資本合計	3,574	-	-		
1株当たり親会社 所有者帰属持分	124.08円	-	-		
自己資本比率	30.0%	-	-		
フリー キャッシュフロー	△ 37	-	-		

## ■ 中期経営計画 B-7030計画 当初財務目標進捗状況

- BtoB事業は、音響機器の業務用オーディオ機器は前期比+17%成長を遂げ順調に事業拡大中だが、情報機器の不振により前期比+1%成長に留まる
- BtoC事業は、プレミアムオーディオ・音楽制作オーディオとも普及価格帯製品の絞り込みによる価格帯シフトが進捗し売上成長鈍化も利益率向上
- 自己資本比率は、最終年度の目標である30.0%を前倒し達成

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2024年3月期時点 当初中期計画進捗率	(百万円)
	実績	実績	当初中期計画		
売上収益	15,699	15,672	17,500	89.6%	普及価格帯音響機器の絞り込み加速と情報機器不振により進捗率が低下
音響機器事業	10,023	10,930	13,000	84.1%	BtoBと中高価格帯BtoCは順調に成長も、普及価格帯製品を絞り込み
情報機器事業	4,329	3,933	4,200	93.6%	計測機器の需要回復と機内エンターテインメント機器導入に遅延が発生
その他	1,347	809	300		
セグメント利益	1,453	1,427	2,100	68.0%	売上総利益は増益、マージンも過去最高ながら、販促活動強化で支出増
音響機器事業	846	1,247	1,600	77.9%	広告宣伝・販売促進関連支出増も前期比+49%の大幅増益
情報機器事業	352	133	500	26.6%	支出抑制も売上総利益減をカバー出来ず進捗低下
その他	255	47	0		
営業利益	563	445	1,100	40.4%	2024/03期は円安により計画比△182百万円の為替影響（損）発生
ROE	10.9%	△1.6%	17.0%	-	当期損失を計上
自己資本比率	28.4%	30.0%	30.0%	0.0ppt	最終年度目標達成
フリーキャッシュフロー	192	△37	800	-	在庫の高止まりが営業キャッシュフローを圧迫
BtoB比率	45.3%	45.9%	42.0%	+3.9ppt	最終年度目標達成



## ■ 音響機器事業 プレミアムオーディオ機器

- 2024年2月、北米フロリダで開催されたオーディオショーにて、ESOTERIC インテグレートッドアンプ『F-02』が最高音質のシステムに贈られる「ザ・ベスト・オブ・フロリダ・インターナショナル・オーディオエキスポ2024」を受賞



- イギリスで編集され世界各国でローカライズ版を出版する世界的なオーディオ誌 What Hi-Fi? 誌において、Super Audio CD/CDプレーヤー『K-05XD』が最高位の5スターを獲得。2014年の『K-05』での5スター獲得に続く快挙

What Hi-Fi? Verdict ★★★★★

評価スコア (5点満点)  
音質：5 造り：5 機能：5



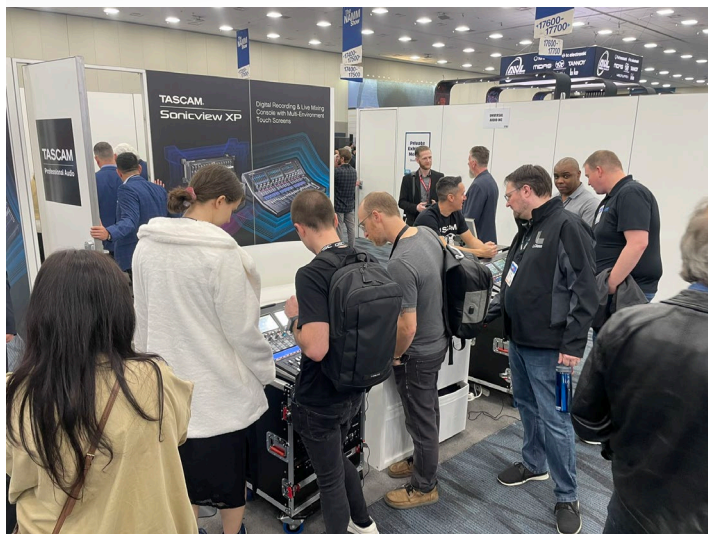
- ESOTERIC フラグシッププリアンプ、パワーアンプ『Grandioso C1X、M1X』が、米国で最も権威あるオーディオ誌のひとつ、Stereophile (ステレオフィール) 誌にて、2024年度の推奨コンポーネントに選定



## ■ 音響機器事業 音楽制作・業務用オーディオ機器

- 2024年1月に米国アナハイムで開催された世界最大規模の楽器・音響機器展示会米国「NAMM Show 2024」、2月に欧州スペインバルセロナで開催された設備機器展示会「ISE2024」に出展
- マイク入力/Bluetooth®搭載、ハイ・ローインピーダンス対応コンパクトな設備用ミキシングアンプ『MA-BT240』を出荷開始

- 世界的な音響機器の見本市であるNAMM Show（米国）およびISE（欧州）に出展し、重要戦略商品である業務用デジタルミキサー『Sonicviewシリーズ』および業務用オーディオネットワーク伝送規格Danteに対応したステージボックス『SB-16D』を展示。更には、放送業界の新スタンダードと期待される映像・音声ネットワーク伝送規格SMPTE ST2110（2024年夏発売予定）の対応も告知
- 小規模空間向け 多用途/多機能のClass-Dミキシングアンプ『MA-BT240』を出荷開始。従来の録再生機とミキサーに加えミキシングアンプがラインナップされ、更に柔軟な設備音響システムの構築が可能。ハイ・ローインピーダンス両方に対応し、Bluetooth接続、マイク/ライン入力、ダッキング機能など豊富な機能を備え、小売店、レストラン、カフェ、オフィス環境、教育施設での利用に最適



NAMM Show 2024



ISE 2024



『MA-BT240』

## ■ 情報機器事業 医用画像記録再生機器

- 医療機器関連展示会「Arab Health 2024」に出展

2024年1月29日～2月1日にドバイで開催された中東最大規模の医療機器関連展示会「Arab Health 2024」に出展。UR-NEXT4KとUR-4MDのメディカルビデオレコーダーや、手術映像管理システムのSURGEONE v2などを展示。中東、南アジアに加え、アフリカからの訪問客も多く、これら地域における市場開拓を進める上で、確かな手応えを感じる出展となった



# 財務データシート (IFRS)

		2022/03期				2023/03期				2024/03期							
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4				
貸借対照表	流動資産	7,180	7,723	7,939	8,210	9,042	9,886	9,259	8,351	9,027	8,930	8,969	9,337				
	現金及び現金同等物	1,440	955	789	1,304	1,353	1,739	1,221	1,196	1,553	1,086	1,369	1,227				
	営業債権及びその他の債権	2,167	2,750	2,877	3,154	2,799	2,871	2,809	2,925	2,671	2,938	2,603	3,517				
	棚卸資産	3,211	3,651	3,893	3,400	4,566	4,998	4,877	3,862	4,512	4,638	4,662	4,214				
	その他の流動資産	362	366	381	352	324	278	352	368	291	269	336	379				
	非流動資産	2,119	2,043	1,955	1,870	1,804	1,720	2,634	2,607	2,673	2,663	2,593	2,585				
	資産合計	9,299	9,766	9,894	10,081	10,845	11,606	11,893	10,958	11,700	11,594	11,562	11,922				
	流動負債	5,833	5,845	5,822	5,852	6,266	6,430	6,161	5,316	6,242	6,018	6,249	5,437				
	社債及び借入金	2,571	2,588	2,574	2,467	2,904	3,030	2,900	2,042	2,749	2,663	2,965	2,108				
	リース負債	352	368	371	312	232	164	264	448	519	357	359	367				
	営業債務及びその他の債務	1,651	1,559	1,557	1,458	1,759	1,798	1,646	1,281	1,615	1,566	1,571	1,504				
	その他の流動負債	1,258	1,329	1,320	1,615	1,371	1,439	1,351	1,544	1,358	1,432	1,354	1,459				
	非流動負債	1,794	1,995	1,862	1,761	1,893	2,172	2,861	2,531	2,474	2,446	2,189	2,911				
	社債及び借入金	332	697	686	619	820	1,189	1,113	1,083	977	829	690	1,527				
	リース負債	259	167	92	68	64	42	870	685	790	913	849	792				
	長期未払金	1,096	1,044	991	920	833	793	729	689	622	626	573	511				
	その他の非流動負債	106	86	93	154	177	149	149	75	86	79	78	81				
	負債合計	7,627	7,839	7,685	7,613	8,160	8,603	9,022	7,847	8,715	8,465	8,439	8,348				
	資本合計	1,673	1,926	2,210	2,468	2,686	3,003	2,871	3,112	2,985	3,129	3,124	3,574				
	親会社の所有者に帰属する持分合計	1,673	1,926	2,210	2,468	2,686	3,003	2,871	3,112	2,985	3,129	3,124	3,574				
非支配持分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
負債及び資本合計	9,299	9,766	9,894	10,081	10,845	11,606	11,893	10,958	11,700	11,594	11,562	11,922					
親会社所有者帰属持分比率	18.0%	19.7%	22.3%	24.5%	24.8%	25.9%	24.1%	28.4%	25.5%	27.0%	27.0%	30.0%					
損益計算書	売上収益	3,263	4,011	4,304	4,426	16,004	3,557	4,044	3,879	4,219	15,699	3,349	3,977	3,890	4,457	15,672	
	音響機器事業	2,193	2,798	3,058	2,935	10,985	2,262	2,531	2,537	2,693	10,023	2,313	2,974	2,787	2,856	10,930	
	情報機器事業	710	813	895	1,076	3,493	907	1,108	1,075	1,238	4,329	815	774	884	1,460	3,933	
	その他	360	400	352	415	1,527	388	405	267	288	1,347	221	229	218	141	809	
	セグメント利益	115	533	474	501	1,623	226	485	345	398	1,453	75	385	384	584	1,427	
	音響機器事業	97	448	410	329	1,283	109	265	249	224	846	69	427	387	364	1,247	
	情報機器事業	△17	38	45	103	169	60	76	72	144	352	△29	△68	△9	240	133	
	その他	36	47	20	69	171	57	144	24	30	255	35	26	6	△20	47	
	個別開示項目前営業利益	△129	304	239	240	654	△20	299	123	162	563	△194	148	148	344	445	
	個別開示項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	営業利益	△129	304	239	240	654	△20	299	123	162	563	△194	148	148	344	445	
	税引前利益	△167	219	198	231	481	△104	138	182	126	341	△389	32	179	183	5	
	親会社の所有者に帰属する当期利益	△174	210	187	168	392	△109	140	150	124	305	△400	32	181	134	△53	
	キャッシュフロー	営業活動によるキャッシュフロー	△174	△751	△36	808	△153	△485	11	△204	972	294	△113	△98	239	41	69
		投資活動によるキャッシュフロー	△56	△10	△20	△50	△136	△23	△38	△29	△12	△102	△36	△18	△17	△34	△106
財務活動によるキャッシュフロー		△203	283	△126	△253	△299	550	352	△242	△992	△333	446	△349	90	△209	△22	
フリーキャッシュフロー		△230	△761	△56	758	△289	△508	△27	△233	960	192	△149	△116	222	7	△37	

注： 2023/03期より産業用光ドライブ事業の報告セグメントを「情報機器事業」から「その他」へ変更。上記では、過年度実績対比を目的とし2022/03期についても産業用光ドライブ事業は「その他」を含む

この資料に記載されている記述のうち、将来見通しに関する記述は、当社の現時点での入手可能な情報に基づいている為、既知または未知のリスクおよびその他の不確定要因が内在しており、実際の業績はこれらの業績見通しと大幅に異なる可能性があります。実際の業績に対し影響を与えるリスクや不確実な要素としては、主要市場（日本、北米、欧州、アジアなど）の経済状況・需要動向、同市場における貿易規制等各種規制、ドル、ユーロ等の対円為替相場の大幅な変動、部品・原材料の供給、物流網の安定性、急激な技術変化、などがありますが、業績に影響を与える要素としてはこれらに限るものではありません。